

## 機械科 課題研究（＝総合的な探求の時間）取り組み紹介

機械科では3年生になると、8班程度に分かれて、各テーマを設定し、一年間をかけて、ものづくりの研究を行います。途中では中間発表があり、他の班の進捗状況も分かります。学年末には最終的な発表会も実施しています。

今年度は松工魅力化コンソーシアムを活用し、地域企業・地域住民と協働することにより、地域産業の発展に寄与できる心豊かな技術者を育成することを目標とした取り組みも始めました。

具体的には、地域の自転車屋さんから、自転車の整備・点検を学び、それをベースにして老人介護施設等の車いすのメンテナンス等を実施します。地域の施設の抱える課題を、ものづくりを通じて解決を目指すことにより、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力、問題解決能力を身につけることを目的に活動します。

新型コロナ感染症のため、様々な配慮が必要ではありますが、今だからこそ、やってみようというチャレンジ精神で取り組みます。写真は技術協力をしてくださるサイクルショップ石倉の店長である石倉 精二さんから点検作業とメンテナンス作業についてご指導をいただく風景です。

